



長門の話題

Topics

第4回お魚まつり

仙崎ぶとイカ旬宣言発令!

9月26日(日)、第4回ながとお魚まつりが仙崎魚市場で開催されました。市内で水揚げされた鮮魚・活魚の大直売会や、油谷本マグロの切り身販売、セリ体験や魚のつかみ取り大会が行われたほか、地元団体などによる出店や仙崎海上保安部の巡視船「しづき」の体験航海も行われました。

まつりのオープニングセレモニーでは、仙崎で水揚げされるケンサキイカが今一番旬でおいしい時期を迎えたことを示す「仙崎ぶとイカの旬宣言」が発令されました。県漁協長門統括支店の津室喜久委員長が「おいしい仙崎ぶとイカをぜひ味わってください」とあいさつしました。



▲大盛況の鮮魚販売コーナー

▼魚のつかみ取り



▲協議会の様子

▼美祿線板持駅の様子(10月中旬撮影)



JR美祿線利用促進協議会が発足

一日も早い復旧をめざして

9月17日(金)、7月中旬の大震災で不通となっているJR美祿線の早期復旧や利用促進について協議する「JR美祿線利用促進協議会」が発足し、設立総会が美祿市民会館で開かれました。この協議会は長門・美祿・山陽小野田市3市の市長、副市長、市議会議長、商工会議所会頭、観光協会ら

19人で構成されています。総会では規約を定めた後、会長に美祿市の村田市長、副会長に長門市の南野市長と山陽小野田市の白井市長を選出しました。また、協議会の活動方針として生活路線、広域観光路線、貨物路線の3点について利用を促進していくことが話し合われました。

岡田病院がワクチン基金へ寄附

安心して出産できる環境を

10月4日(月)、医療法人社団成蹊会岡田病院が創立50周年を記念して、「長門市すこやかながとワクチン基金」に500万円を寄附しました。また成蹊会従業員の皆さんからも30万円の寄附がありました。岡田和好院長は「長門市で安心して出産し育児のできる

環境にして、出生率の改善に役立ててほしい」と話しました。この基金は今回の寄附の申し出を受けて新設されたもので、今後長門市ではこの基金を使い「子宮頸がん」と「ヒブ」の感染を予防するワクチン接種費用の一部を補助することになっています。



市制5周年・ルネッサながと開館10周年記念

ごきげん歌謡笑劇団公開録画

9月28日(火)、NHK衛星第2テレビの番組「ごきげん歌謡笑劇団」の公開録画がルネッサながとで行われました。事前に行われた観覧の抽選には6千通を超える応募がありました。収録前にあいさつに立った南野市長は、「放送を通じて全国の皆さんに長

門市の良さを知ってもらいたい」と述べました。収録が始まると、綾小路きみまろさんの独特の語りで会場は笑いの渦に。放送日は次のとおりです。ぜひご覧ください。



長門市交通安全のつどい

三百人が華やかにパレード

9月21日(火)、秋の全国交通安全運動の一環として「長門市交通安全のつどい」が開催されました。長門市中央公民館で開かれた大会では、阿野副市長が「市民総ぐるみで交通安全運動を繰り上げましょう」と挨拶をした後、交通安全警察音楽隊による演奏会が行

われました。大会後、県警察音楽隊を先頭に大会参加者やおおい幼稚園児、交通安全アテンダントらによる交通安全パレードが行われ、300人を越える行列が長門市中央公民館から市役所本庁南側駐車場まで約200mを行進、沿道の市民に交通安全を呼びかけました。



▲あおい幼稚園児たちが旗を持って行進

▼交通安全アテンダントの皆さん





ライフガードレディースが大幅増員

ライフジャケットの着用を

10月2日(土)、仙崎海上保安部は海上でのライフジャケット常時着用を普及・促進するため、市内の17名の女性をライフジャケット着用普及指導員(通称ライフガードレディース)に指定し、指定証の交付式を県漁協湊支店で行いました。指定されたのは市

内の県漁協各支店に所属する職員などで、これまで市内で一人だった指導員が大幅な増員となりました。交付式では佐藤至保安部長が、「家族や近所に住む漁業関係者に積極的にライフジャケットの着用を呼びかけてください」と話しました。

(財)中国地方郵便局長協会が車椅子を寄贈

日頃のご愛顧のお礼に

(財)中国地方郵便局長協会が、グループホームひまわりに1台、特別養護老人ホーム養寿苑とへき楽園に2台ずつの車椅子を寄贈し、10月6日(水)、各施設で贈呈式が行われました。養寿苑では、入所者代表の森永瀧子さんが、笑顔で車椅子を受け取りました。



ここにこステップ運動教室が人気

体に負担かけずに運動!

9月から11月までの3カ月間、三隅保健センターで「ここにこステップ運動教室」が開催されています。これは、市が生活習慣病を予防しようと開催しているものです。「ここにこステップ運動」は、その名のとおり一人ひとりの体力にあわせて、笑顔を保ちながらできる程度に踏み

台の高さや昇り降りする速度を調節し運動をするもので、心肺機能に負担をかけず安全で気軽にできるのが特徴。教室には40歳から70歳の市民約20人が参加。毎週水曜日はこの運動を体験し、その効果を確かめるといふことです。



第6回阿惣ダム走ろう大会

気持ちいい汗かいたよ!

10月3日(日)、阿惣ダムで第6回阿惣ダム走ろう大会が行われ、市内から小中学生と大人合わせて83人が参加しました。小雨がぱらつくあいにくの天気でしたが、参加者はダムの周囲をめぐるコースを懸命に走り、気持ちの良い汗を流していました。



4人が世界大会に挑戦!

アームレスリングチーム「海聖」

ちょっと小耳に

今年の12月上旬にアメリカのラスベガスで開催されるアームレスリングの世界大会に、通に拠点を置くチーム「海聖」から4人が出場することが決まり、長門市役所の市長室で激励会が開かれました。出場するのは「村田3兄弟」として全国にその名を轟かせている長男の村田周作さん、次男の和成さん、三男の佳史さんと、山下仁千さん。昨年の全日本大会で優勝し、出場

権を獲得しました。

周作さんは昨年のイタリア大会で8位入賞、和成さんも2005年の東京大会に出場しているため、今回は2度目の挑戦、佳史さんと山下さんは初出場となります。「8位では満足していません。今回はなんとしても3位以内に入りたいです」と周作さん。「全日本など国内の試合では自分の試合成績で頭がいつぱい。でも世界大会は違います。一緒に出場する日本

チームや、海聖のみんな、そして応援してくださる地域の皆さんの思いを背負って、日本代表として頑張ろうという気持ちになります。自分のためではなく、みんなのためにメダルを持って帰ります」と意気込みを語りました。佳史さんは「自分は初出場ですが、海聖の4人が一緒に行くのでリラックスして試合に臨みます。必ず決勝に残ってみせます」と話しました。



周作さん(左)、南野市長(中央)、佳史さん(右)



幻の高級魚「キジハタ」放流

大きくなつて帰って来てね!

10月7日(木)、久津漁港でキジハタ稚魚の放流が行われました。これは山口県水産研究センターが、普段なかなか口にできない「幻の高級魚」キジハタを広く知ってもらおうと毎年行っているもので、久津保育園の年長組園児4人が、生後3カ月で6cmに成長

した稚魚約500匹を、久津漁港内に放流しました。その後、キジハタの試食会が行われ、水産関係者や報道関係者が、刺身や湯びきを味わいました。その味は、クセがなく上品なうまみが口の中に広がり、まさに幻の高級魚の名に違わぬおいしさです。

市内各地で敬老会

園児がお肩をタントン!

9月17日(金)から10月23日(土)にかけて、市内8会場で敬老会が開催されました。10月19日(火)、日置地域づくりセンターで行われた敬老会には、225人のお年寄りが出席しました。式典では南野市長が「これからも、生涯現役の気持ちを持っていつまでも元気で過

ごしてください」とあいさつ。その後、日置保育園の園児たちがステージでダンスを踊ったり、ふれあいタイムでお年寄りの肩たたきをしたりしました。今年度の長門市の75歳以上の敬老会対象者は7,858人(長門3,905人、三隅1,195人、日置865人、油谷1,893人)でした。

